



安全ニュース(2026年9月)



(株)スタンダード運輸

(株)東運

ススエ電機(株)

重点実施項目 (国交省告示第1366号)

重点実施項目 (国交省告示第1366号)

運転者の運転適性に応じた 安全運転

自分の性格を理解して安全運転につなげよう！



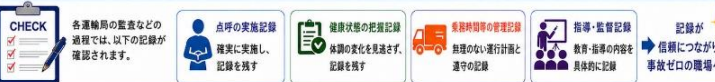
"3箇条厳守"

● 個人の教育・指導の記録をとっていますか？



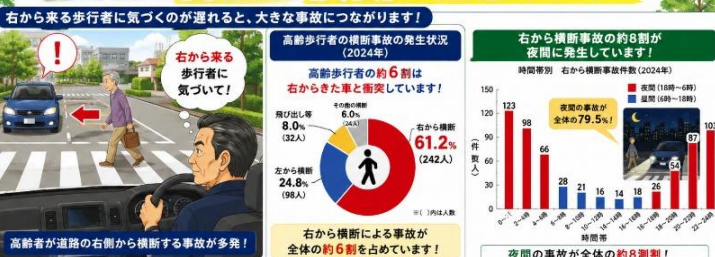
ある運送会社では、狭い道での左折時に、電柱に接触する物損事故が繰り返し発生していました。ドライバーへの個別面談指導を実施した結果、「左折時の内輪差の確認不足」や「ミラー・死角の確認不足」が原因であることが判明。その後、実車を使った運転指導と確認ポイントの徹底を行ったことで、同様の事故が大幅に減少しました。

● 事故を防ぐ力は、個別の振り返りと具体的な指導にあります。



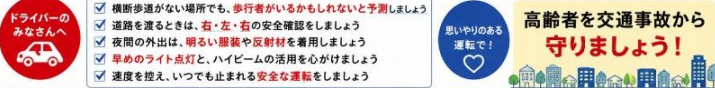
● 日々の記録・点検・指導を確実にし、事故ゼロ・違反ゼロを目指しましょう！

高齢者の右から横断に注意しよう！



高齢者の横断事故で多いのは、横断歩道以外の場所で横断していて、右から来た車と衝突するケースです。右から横断する事故は、夜間に多く発生する傾向があります。ドライバーからは見えにくく、気づくのが遅れやすいため、十分な注意が必要です。

➡ 右から横断する高齢者との事故を防ぐために、ドライバーの「気づき」と「予測運転」が重要です！



高齢者を交通事故から
守りましょう！

出典：警察庁「交通事故の発生状況 (2024年)」・国土交通省「歩行中の交通事故データ」より作成

構内ルールを遵守しよう

✓ ルールはみんなの命を守るためにあります！

最新の事故事例 (2024年)

2024年8月12日午後11時ごろ、愛知県の工場敷地内において、男性作業員が大型トラックの直進にひかれ、死亡する事故が発生しました。

現場は夜間で、構内の一時停止場所で停止せずに進入したことが原因とみられています。



構内ルールの重要ポイント

速度を守る
構内制限速度は10km/h以下です。必ず守りましょう。

一時停止を徹底
交差点・出入口では必ず停止し、左右の安全確認を徹底！

見通しの悪い場所は徐行
建物の角やカーブでは、徐行して歩行者や他車の有無を確認しましょう。

⚠ 構内ルールの違反は重大事故につながります！
従業員はもちろん、協力会社の運転者や来訪者に対しても、ルールの再確認と遵守徹底を図りましょう。

ドライバーの皆さんへ
✓ 構内では必ず制限速度を守りましょう
✓ 一時停止場所では必ず停止し、左右の安全確認を！
✓ 夜間や見通しの悪い場所ではライトを点灯し、徐行運転を！
✓ 無理な進入や飛び出しは絶対にやめましょう



ひとりひとりの意識が、仲間の命と安全を守ります！ ♥ ルールを守って、安全・安心な職場環境を！

左折時の交差点の死角に注意する

左折時は、見えない「死角」が潜んでいます！

左折時に、ライトの照射範囲に歩行者がいるとは限りません。特に、対向車線の右折車が交差点に入ってきて横断歩道などの前で待機している、相手は自分が先に左折するのを待っていると勘違いし、慌てて曲がる場合があります。



⚠ こんな危険があります！
✗ 横断歩道の手前で見落とす
✗ 歩道の死角から飛び出してくる
✗ 夜間は特に見えにくい

安全運転のポイント

① ライトの範囲を過信しない
ライトが当たらない場所にも人や自転車がいる可能性を忘れない。

② 死角をしっかりと確認する
ミラーと目線で、歩行者・自転車の動きをしっかりと確認する。

③ 一時停止と徐行を徹底する
横断歩道の手前で必ず一時停止し、十分に安全確認する。

④ 歩道の状況にも注意する
踏み込みや看板で見えにくい場所があることを意識し、歩行者の動きに注意する。

今日のまとめ
左折時は、相手の「思い込み」や「死角」が事故につながります。一時停止・安全確認を徹底して、悲しい事故をなくしましょう。

うっかり「高さ」を忘れる危険に注意させよう！

「高さオーバー」が重大事故につながります！

高い荷物を積んだトラック、フォークリフト、クレーンなどが高くなっていない状態で、通行できる場所に制限があります。



運転作業に没頭していると、前後の動きやハンドル操作に意識が集中し、自分の車両の「高さ」に対する警戒が薄れてしまうことがあります。

⚠ 初心者はもちろん、ベテランでも起こりやすいのが「うっかり」ミス。日頃から意識して安全を守りましょう！

⚠ こんな危険があります！

高さ制限の超過
戸棚・天井・配管・看板などに接触し、重大な事故につながる可能性があります。

荷物の上げすぎ
高く上げすぎると、予期せぬ場所での接触・転倒の危険があります。

視界の死角
高さによっては、死角が増え、人や障害物に気づけにくくなります。

意識の低下
運転や作業に集中すると、「高さ」を忘れてしまい、うっかり事故を招きます。

安全に作業するためのポイント

① 高さ制限を必ず確認
通行前に高さ制限を確認し、余裕を持って行しましょう。

② 荷物は必要以上に上げない
荷物はできるだけ低くして移動し、上げたままの移動は最小限に。

③ 前後・上下の確認を習慣にする
発進・停止・旋回時は、前後・上下の状況を確認！

④ 周囲との合図・声かけ
作業中や移動時に、合図や声かけで周囲と情報共有を行しましょう。

⑤ 常に「高さ」を意識する
作業に集中していても、「自分の車両や荷物の高さ」を常に意識することが事故防止の基本です。

➡ 「うっかり」を防ぎ、「高さ」を意識して、事故ゼロを目指しましょう！

